

新年度 4 月が始まりました。年の始まりのお正月とは違って華やかさがあります。ピンク色の桜のせいでしょうか。心もウキウキ、体も軽く。少々の雨も何のその。「春雨じゃ。濡れていこう!」なんて、幕末の頃、武智半平太が言ったとか言わないとか。寒い冬を乗り越えて、そぞろ歩きが最適の季節です。

相模原市内の桜が一斉に咲きそろい、町中がピンクに染まります。スマホのカメラを携えて、桜見物に出かけました。相模原市役所前の桜並木。たわわになった桜の枝の先が道路の反対側と交差して桜のトンネルになっています。歩行者信号が青になるのを待って、横断歩道をゆっくり横断、途中真ん中から写真を撮りパチリ。スケートボード場が新装になった小山公園にも寄りました。屋台も出て賑やかです。小山中学校裏の桜並木が見事に咲きそろっています。

津久井湖畔の水の苑池も車が一杯。公園内の桜並木がきれいですが、対岸の花の苑池の桜も見事です。山のすそ野から中腹まで桜が広がっているようで、近くで見るよりも対岸から見るのも良いのでは。ふと目を下に戻すと、ダムに水がない。河岸の土が見えて普通の川のように。このダムが満水になるのはいつでしょう。

思いがけないメイストームが吹きました。5月の連休頃に吹き荒れるはずの暴風雨が吹き荒れ、満開になった桜を蹴散らしました。見事な満開の桜を散らすどころか、折れてしまった桜の木が何本もあるとか報道されています。それでも風雨に耐えた桜花が残りました。一年生がピカピカのランドセルを背負って初めて登校する小学校の入学式まで咲いていると良いのですが。少し緊張して、新しい環境に身を委ねて。がんばれ!一年生。

橋本公民館 館長 伊藤孝久